



富士大学

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

大学院/経済・経営システム研究科
経済学部/経済学科・経営法学科・経営情報学科
〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818

建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力をもった豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成することにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。



被災地へ後方支援

ボランティア活動を展開

「3・11東日本大震災」は全国規模で死者・行方不明者が2万人をこえ、沿岸地域の市町村は大津波によって壊滅的な被害を受けた。被災地の惨状に言葉を失い、辛くも命をつないだ住民は恐怖を通り越して呆然と立ちすくんでいる。そんな光景が報道メディアを通して全国の家庭に報じられた。

本学の福祉・ボランティア研究センターは、この大震災を経験した生き証人として、「そのとき学生たちは何を思い、どんな行動をしたのか」を記録し、これを後世に伝える義務があると考え、大震災発生直後、災害復興支援学生

ボランティアの名簿登録と義援金募集の体制をつくった。また、ボランティア関連科目のシラバスを精査してボランティア活動の単位化を進めるなど学生の活動環境を整えた。

学生たちの反応は早く、被災地各地、後方支援を担当する拠点、教育委員会、福祉施設等々からの要請（ボランティア・ニーズ）に応え、4月早々から、復旧復興支援、救済物資の仕分け梱包支援、高齢者の心のケア等、被災地へ後方支援へとボランティア活動を展開してきた。

平成23年7月末現在、災害復興支援学生ボランティア名

救援活動

～部員の家族の被災に心痛めて被災地へ～



今回は被災地大槌町へ向かい、5人1組のグループで家屋の清掃作業を行った。雨降る中、家具の移動、床板剥がし、泥の掻き出し、等々。土砂崩れの危険があり午前中で作業は打ち切りになった。苦しい作業であったが被災者の心情を思いやり、黙々と作業を行った。

(4/23 報告書より)

後方支援

～膨大な学童用文具の仕分け・梱包作業に汗を流す～



全国から寄せられた文房具を被災地の小・中学校へ配送するため、文具の分類、数量点検、梱包作業を終日行った。作業は難しくなかったが、膨大な量と配送先学校数の多さに驚いた。文具を送ってくれた全国の子どもたちや、これを使って学習する被災地の子どもたちの顔が目に浮かび、後方支援の大事な役割を改めて感じた。

(4/21 報告書より)

高齢者の心のケア

～「童話の読み聞かせ」で施設訪問を継続～



同施設の幼児も大喜び

高齢者の方々が、震災の報道を見聞きするたびに不安に駆られ、元気をなくしている。津波の影響がなかった内陸部でも、3・11の地震の激しい揺れに恐怖を感じ、大津波被災地の惨状に心を痛めている。私たち放送研究会のメンバーは、部活動を生かした高齢者の心のケアができるのではないかと、近隣の福祉施設で童話の読み聞かせや歌を聴いていただき、少しでも元気を取り戻してもらいたいと考えた。今後も継続的に活動する。(7/20 報告書より)



陸前高田市にて農地環境改善 (8月)

全日本大会出場寄付金ご協力への御礼

全日本大学野球選手権大会寄付金募集実行委員会

実行委員長

富士大学 学長 藤原隆男

富士大学硬式野球部の第60回全日本大学野球選手権大会出場寄付金募集に当たりまして、在学生の保護者、卒業生、岩手県民、花巻市民、取引業者、並びに本学関係者、その他多くの方から多大なご支援を賜りました。今大会は2回戦からの出場で、ベスト8という成績を残すことができました。選手は「勝つて被災地を元気にしたい」という思いを胸に全力で挑戦して参りました。第58回(平成21年)の準優勝越えはなりませんでしたが、最後まであきらめないプレーは、希望と勇気を与えてくれました。このような成果が収められましたのも、皆様方のご支援、ご声援の賜物と深く感謝しております。ご支援、誠にありがとうございました。

ア研究センター 石田豊

入学式・オリエンテーション・教養演習旅行

―震災を乗り越え、復興に力を―

平成23年度入学式（略式）が5月2日に本学で行われ、新入生はそれぞれの目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。

藤原学長は、「勉学にスポーツに、精いっぱい学生生活を送ってほしい。共に手を取り合って邁進することを願う」と述べ、4年間の精進を期待しました。

また、新入生を代表して、経営情報学科の瀬川健太さん（花北青雲高卒）が「多くの仲間と切磋琢磨する過程で今回の大震災を思い、復興に力を尽くしたい」と誓いました。

東日本大震災の影響で当初予定（4月7日）より約1ヶ月遅れでの入学式となりましたが新入生が震災を乗り越え



入学式

る支えになることを決意し、キャンパスライフをスタートさせました。

従来、1泊2日で行っていた学外オリエンテーションと教養演習旅行は、今年度は、

講義日程の関係から内容が変更されました。

オリエンテーションについては、5月11日の教養演習の時間にゼミ別研修を行い、5月18日の2時限目および3時限目に全体研修を実施しました。

教養演習旅行は、5月25日



教養演習旅行にて

に実施し、岩鋳南部鉄器会館、盛岡市先人記念館、小岩井農場に赴くとともに、「わんこそば」も体験しました。これらの活動を通して、

学生同士及び教職員との交流・相互理解が図られました。

これからの4年間、本学で様々な経験をし、多くの可能性に挑戦し、1つでも多くのことを成し遂げ、また、自分の良さを発見することとで、大きく成長することを期待します。



学科ごとに正門前で記念撮影。写真は経営法学科新入生

イーハートブキャリアプランスタート

―雨ニモマケズ、社会を逞しく生き抜くために―

本学ではキャリア教育と就職活動等を支援する「キャリアセンター」を昨年開設し、4月から2人のキャリアアドバイザーをスタッフに加え、新体制としてスタートしました。

これまでの就職活動等の支

援と本学で推進しているキャリア教育とを連携させ、学生への総合的なキャリアサポートを図ることを目的とする組織です。

厳しい就職事情が続く中で、学生が卒業後に実践力を武器に社会で活躍できるよう、「富士大学イーハートブキャリアプラン」という独自のキャリア教育を展開しています。その中で重要となるのが、

①社会を正しく生き抜く力
②学んだ知識を活用できる力
③社会の一員として共生する

力の3つの力から成り立つ総合力です。

学生全員参加のインターンシップ実施など、全学的な取り組みで学生が社会に出るための橋渡しの意識教育を行っています。

社会人としての基礎を固める「生き方教育」や、キャリア形成論など、カリキュラムの中に組み込まれたさまざまな就職支援プログラムはもちろん、キャリアセンターを軸に、就職活動をあきらめないための、就職直前支援なども積極的に推進しています。さらには学部と大学院のスムーズな連携体制を強化した「職業会計人育成モデル」も構築し、税理士育成にも力を入れています。

かけがえの無い時間を過ごす

―留学生学外研修で交流を深める―

本学国際交流センターでは在学している留学生を対象とした学外研修を行っています。

研修では、日本で2番目に広く、自然豊かな岩手県の名所を訪れ、日本の文化や風習に触れます。さらに一緒に参加する日本人学生や教職員との交流から相互理解を図っています。

6月には世界遺産登録が決定した平泉の中尊寺金色堂、

藤原の郷（江刺）、7月には北上川源泉地である御堂観音正覚院（岩手町）、馬仙狭と九戸城跡（二戸）などを見学し、次回は福泉寺（遠野）を計画しています。

この学外研修は留学生が日本語を学ぶ場としても有効であり、名所旧跡を訪ねることは「百聞は一見にしかず」で意味があるものと思います。

また、日本人学生も自国の文化の価値を再認識し、自分

を取り囲む環境が何事にも変えがたいものだと感じるかもしれません。

国際交流センターは、今

後も留学生に幅広い国際交流を定期的に図り、帰国後に大きな成果となつて現れることを願っています。



- ①最終出身学校 ②前職
③担当科目・役職 ④趣味
⑤ひとこと

【職員 2名】

駒井孝平
（こまい たかし）

- ①中央大学／法学部 法律学科
②岩手県立沼宮内高等学校 校長
③「キャリア形成論Ⅳ」・キャリアセンター／副セン

新任職員の紹介

ター長 ④旅行 ⑤純朴で可能性を秘めた原石が多い富士大学で、砥石の役割を果たしたいと思っています。また、4年生が明るい笑顔で卒業式を迎えることができるように、就職支援に全力を尽くします。

獅子内勉
（ししない つとむ）

- ①岩手県立福岡高等学校 ②社団法人岩手県雇用開発協会

③キャリアセンター／センター長代理兼キャリアアドバイザー ④山女、岩魚の渓流釣り。山菜取り等で山奥を駆け回ることと、趣味と実益及び健康管理に努めています。⑤高卒で社会人となったため、大学施設そのものに入ることが初めての経験で、とまどうことばかりですが、学生の進路の一助となるよう努力したいと思っていますのでよろしくお願いたします。

災害復興基本計画について

県と意見交換

7月27日、本学にて学生10名と岩手県復興局企画課計画課長、森達也氏とが会合し、「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画(案)」について意見交換を行った。

初めに、森計画課長から基本計画の概要について説明があり、次いで本学の石田豊福祉・ボランティア研究センター長、井手俊一学生部副部長のコーディネートで学生達が感想・意見・提言などを述べた。家族が被災した学生から、「早くもとの生活を取り戻したい」という心情が述べられ、災害復興関連のボランティア活動を行っている学生

からは、局所的な計画概要に対して、全県的な視野での計画の必要性について提言があり、県担当者が概要説明文の修正を検討したいと応ずるなど有意義な会合となった。主な発言は次のとおり。

今野直美

経営法学科4年
ソフトボール部

被災地でのボランティア活動は膨大な作業量であり、僅かな人数、時間では復旧は進まない。自分たちの無力を痛感した。組織的に取り組む戦略が必要ではないだろうか。

及川成子

経済学科3年
放送研究会

現在、花巻市内で福祉サービスを提供している高齢者福祉施設から、「震災後、連日報道される惨状を見聞きして心に不安を募らせ、生きる元気を失っている。心のケアに力を貸してほしい」との依頼を受け、童話の読み聞かせや歌を聞いていただく活動を継続的に行っている。沿岸の被災地に力点を置いた基本計画案の意図は理解できるが、内陸への対応も必要だと思う。

全県的な視点での復興計画になるようにご検討いただきたい。

栃木尚志

経営法学科4年
準硬式野球部

何度も被災地でがれきの撤去や家屋の泥の掻き出しなどを手伝った。現場は危険な箇所が多く、復旧・復興作業の困難さを肌で感じた。行く度に人手がほしいと思った。

清水雄太郎

経済学科2年
学友会、放送研究会

現在、地域のコミュニケーション放送の手伝いを行っている。このような震災時には、速くて、的確で、豊富な情報地域の人たちの役にたつと思う。全県的な整備、充実が大事だと考えている。
(この意見交換会はいわて高等教育コンソーシアムの活動の一環として実施されたものである)

地域経済に貢献する卒業生からのメッセージ

後輩たちの大きな励みに

本学の卒業生たちは、分野や業種を問わず第一線で活躍中であり、県内企業のトップに就いている先輩も少なくありません。そうした先輩たち、本学の教授陣や職員からのメッセージをホームページ上で紹介しています。

毎日のお買い物から国家の運営まで、経済活動の中で私たちの暮らしが成り立っている。

まず、経済学は実生活に根ざした生きた学問です。本学では、広く地域に開かれた経済系の大学として、地域経済の動向や文化について深く研究し、経済学を通して地域貢献の形を追求したいと考えています。本学は地域の経済発展に寄与すべく、さまざまな情報発信を行っています。また、県内企業との結びつきも

強く、さまざまな角度からサポートしています。

地域社会に貢献し、震災復興の原動力となる人材育成をテーマに本学は今後も取り組んでまいります。その理念のもと、母校から羽ばたき、各界で活躍する多くの卒業生の姿は、後輩たちの大きな励みとなっています。

各地から寄せられた先輩たちのメッセージは、富士大学のホームページ「ミネラルノート」内のコンテンツ「マーケ天狗の森」からご覧いただけます。



～賢治のまちから～

「第11回全国高校生☆童話大賞」

— 復興を目指す日本の一助となることを願って —



宮沢賢治ゆかりの地花巻市から生まれた「～賢治のまちから～全国高校生童話大賞」は第11回を迎えました。本企画は、人生の中で最も多感で豊かな創造力をもつ高校生を対象に、そのみずみずしい感性で創作する「童話」という表現の場を提供し、文芸活動を支援する趣旨で実施しております。

昨年の第10回は北海道から沖縄まで全国の高校生から1,127篇もの作品が寄せられ、第1回からの応募数は延べ1万篇を超えました。

第11回の応募期間は6月1日から9月15日まで、審査発表は12月1日(木)にホームページ上に掲載いたします。表彰式は12月25日(日)に花巻市のなはんプラザにて一般公開し、受賞者の表彰、花巻農業高校生徒による当地の伝統芸能「鹿踊(ししおどり)」を行う予定です。(実行委員会：富士大学・花巻市・花巻市教育委員会)

※ホームページアドレス <http://www.koukousei-douwa.jp/>



< 賢治と災害 >

【宮沢賢治】1896(明治29)年 - 1933(昭和8)年(満37歳没)

賢治が生まれた年と亡くなった年に大地震(三陸地震)と津波が起こりました。幼い頃から地震等の被害に遭った人たちの悲慘な姿を目にして育ち、それが彼の生き方や作品に大きな影響を与えたといわれています。

賢治は、地震の被害や冷害などで大変な状況だった農業を立て直すため、勉強、研究、指導を熱心に行い、そんな中で詩や童話作品を数多く残しています。自らの力の限界を知り、それを受け入れ、悩める人々と共に苦しむことを実行しました。

東日本大震災以後、「雨ニモマケズ」などの賢治の作品が改めて見直され、注目されているようです。宮沢賢治が残したことに「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」とあります。今の私たちと思いは同じであり、現代でも多くの人々が「宮沢賢治の思い(願い)」に共感しています。

Club Profile

クラブ紹介

準硬式野球部

富士大学体育会準硬式野球部は、1965(S40)年に奥州大学(現 富士大学)開学と同時に創部され、今年度で46年目を迎えました。準硬式野球とは、硬式野球、軟式野球と同様に全国のほとんどの大学にて行われている盛んなスポーツの一つです。主な特徴としては、硬式球の表面が皮なのにに対し準硬式球は表面がゴムであることです。また大学準硬式野球の目指すところは、「アマチュアスポーツの精神に則り、学業との両立を図ることです。私達はこの基本精神に基づき、純粹に野球というスポーツを楽しむ、そして文武両道に努め、よりよい大学生活を送れるよう取り組んでいます。

創部より諸先輩方が築いてこられた学内外においての活動、実績が認められ、平成元年度より準強化部の指定を受け、さらには平成12年度から現在に至っては、強化部として活動しています。これまで全日本選手権大会1回、全日本選抜大会7回の出場を果たし、特に全日本選抜大会においては、ベスト4に2回(H4、H15)、ベスト8に2回(H11、H21)の進出をしています。今後も全国レベルでの活躍を目指すのもちろんのこと、卒業後、社会に広く受け入れられる人材となるよう努力していききたいと思います。

【卒業生からのコメント】

武田 亮

(H21年度卒、現科目等履修生) 大学野球にてアマチュアリズムを追求し、さらには文武両道の

■準硬式野球部スタッフ紹介

部長 古川光彌太
(ふるかわ みつやた)

早稲田大学経済研究科修士課程修了

副部長 熊谷哲孝
(くまがい のりたか)

富士大学経済学部 准教授
岩手大学大学院人文社会科学科学研究科修士課程修了

監督 高橋直樹
(たかはし なおき)

富士大学 図書館調査役
専修大学経済学部卒業

【主将からのコメント】

大場崇史

(3年、宮城・登米高出身)

創部して約半世紀となりますが、多くの先輩方が築いてきた歴史を、今いる私達がさらにつづけることができるよう、努力していききたいと思います。



■所属 東北地区大学準硬式野球連盟 仙台リーグ

■部員数 31名(H23年6月現在)

■HP <http://www.geocities.jp/fujunko/>

■E-mail fujibc@yahoo.co.jp

FUJI UNIV.

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

日米大学野球選手権大会 日本代表となつて 山川穂高



6月26日(7月11日まで)アメリカ・ノースカロライナ州ダーラムで開催した第38回日米大学野球選手権大会の日本代表メンバー22人に選出され、参加することができました。大会結果は、1勝3敗1分と負け越し、3年連続の優勝を逃しましたが、この大会で多くのことを学

初めての国際大会を 経験して

桐生彩香



左から郷間、桐生、榎林選手

6月21(27日まで)シソガポールで開催されたアジアパシフィックソフトボール招待大会において、東日本大学選抜メンバー(16人)に郷間智美(宇都宮文星女子高・3年)と榎林菜実(八戸聖ウルスラ学院高・2年)と共に選出され参加しました。

今大会は、開催国であるシンガポールと、オーストラリア・ブルネイ・西日本選抜・東日本選抜の5

ぶことができました。

今回、強く感じたのは、日本人と外国人選手のフィジカル(体格や体力)の差で、外国人選手には2mを超える選手がたくさんいて、常時150km近い球を投げられます。私個人としては満塁ホームランも打って、何試合かは4番も任せてもらいました。日本とアメリカのレベル差を大きくは感じませんでした。自分を見つめ直して少しでも世界の選手に追いつきたいと思っています。

私が今大会の日本代表に入れたのは、青木監督、豊田コーチをはじめ、大学チームメンバー、私を支えてくれたたくさんの方のおかげです。来年、再来年と日本代表に選出され、世界を相手にもう一度戦ってみたいと思います。応援してください。皆様に本当に感謝いたします。

チームで行われ、結果は6勝0敗で東日本の優勝となりました。また、郷間が「MVP」を、榎林が「最優秀投手賞」を受賞しました。

この大会で感じたことは日本のソフトボールのレベルは高いということです。決勝も西日本と接戦の上での優勝となりました。

今大会を通じてソフトボールだけでなくたくさんのお話をすることができました。国際大会に参加するのは初めてで不安はありましたが、言葉は話せなくても競技を通じてたくさんの方々と国際交流を深めることができ、私自身にとってもプラスになりました。このような貴重な経験ができたのは、高橋監督をはじめ、森コーチ、大学のチームメイト、両親や支えてくださったたくさんの方のおかげです。この経験を今後生かし、インカレ等残りの大会を優勝目指してチーム一丸となり日々努力していききたいと思います。

Result

FUJI UNIV. Sports Club/主な大会結果

2011年8月31日現在 ※氏名の後の()内は学年

硬式野球部

■北東北大学野球春季リーグ戦

4月23日~5月29日(岩手:花巻球場他)
優勝 2年ぶり7回目の全日本出場

大学名	富士大	八戸大	盛岡大	青森大	岩手大	青森学院	勝	負	分	順位
富士大	◎	○	○	●	○	○	8	2	0	1
八戸大	●	◎	○	○	○	○	7	3	0	2
盛岡大	●	○	◎	△	○	○	5	4	1	3
青森大	○	○	△	◎	●	△	4	4	2	4
岩手大	●	○	○	○	◎	○	4	6	0	5
青森学院	○	○	○	△	○	◎	0	9	1	6

＜個人賞＞ ※本学選手のみ
最優秀選手賞・首位打者賞・最多本塁打賞:
佐藤弘典(4)
最多打点賞: 古川貴広(4)

＜ベストナイン賞＞ ※本学選手のみ
投手: 高田寛敏(2)
三塁手: 古川貴広
外野手: 佐藤弘典
外野手: 山川穂高(2)



■第60回全日本大学野球選手権大会
6月7日~12日(東京:明治神宮球場他)
2回戦 富士大学 2-1 近畿大工学部
3回戦 富士大学 5-7 九州共立大
ベスト8

柔道部

■全日本学生柔道優勝大会
6月24~26日(東京:日本武道館)
男子 1回戦 富士大学 2-5 早稲田大学
女子 2回戦 富士大学 0-5 広島大学

■全日本ジュニア体重別選手権大会
東北予選会

7月10日(山形県営体育館)
男子 60kg級 杉本静弥(1) 第2位
81kg級 平嶋孔輝(2) 第2位

準硬式野球部

■春季東北地区大学選手権大会
5月27日~6月12日(宮城:東北学院大学G他)

1回戦 富士大学 8-0 岩手大学
2回戦 富士大学 9-1 東北文化学園大学
準決勝 富士大学 1-8 山形大学医学部
第3位

■東北地区優勝決定戦
6月12日~13日(宮城:東北学院大学G)

1回戦 富士大学 8-0 岩手大学
2回戦 富士大学 9-1 東北文化学園大学

■全日本大学選抜野球大会
東北地区代表決定戦

6月18日(宮城:東北学院大学G)
第1試合 富士大学 5-3 青森大学
決定戦 富士大学 0-6 山形大学医学部



Result

富士大スポーツ 主な大会結果

2011年8月31日現在

剣道部

- 第59(45)回東北(女子)学生剣道選手権大会
6月26日(宮城：東北大学川内体育館)
女子 木村実可(4) **優 勝**
全日本学生選手権出場決定



- 第59(45)回全日本(女子)学生剣道選手権大会
7月2日(大阪府立体育館)
女子 木村実可(4) **3回戦進出**

- 第5回全日本女子学生剣道東西対抗試合
7月2日(大阪府立体育館)
女子 木村実可(4) 東軍4将出場
西軍勝利

ホッケー部

- 全日本大学ホッケー王座決定戦
東北北信越予選会
5月28日(新潟：城山運動公園ホッケー場)
男子 富士大学 5-1 新潟大学
女子 富士大学 5-0 新潟大学
男女とも全日本大学王座出場決定 8年連続

- 第30回全日本大学ホッケー王座決定戦
6月30～7月3日(京都：冬野ホッケー場他)
男子 1回戦 富士大学 1-5 東京農業大学
女子 1回戦 富士大学 1-1 早稲田大学
(P.S戦 4-3)
準々決勝 富士大学 1-1 天理大学
(P.S戦 2-4)
女子 ベスト8



サッカー部

- [学生チーム：富士大学]
■東北地区大学選手権 兼 総理大臣杯
全日本大学トーナメント東北予選
5月15～28日(富士大学サッカー場他)
2回戦 富士大学 5-1 弘前大学
準々決勝 富士大学 3-1 福島大学
準決勝 富士大学 3-2 東北大学
決 勝 富士大学 0-3 仙台大学

- 岩手県サッカー選手権 兼
天皇杯全日本サッカー選手権岩手代表決定戦
5月15日～8月29日(岩手県営運動公園他)
4回戦 富士大学 5-2 ヌ・ペーレ平泉
準々決勝 富士大学 1-5 グルージャ盛岡

- [社会人チーム：富士クラブ2003]
■岩手県サッカー選手権 兼
天皇杯全日本サッカー選手権岩手代表決定戦
5月15日～8月29日(岩手県営運動公園他)
3回戦 富士クラブ2003 2-0 新日鐵釜石
4回戦 富士クラブ2003 2-3 アンソメット岩手八幡平

- 東北社会人サッカーリーグ1部
5月15日～10月9日全14節(富士大学サッカー場他)
第10節まで 1勝7敗

- 全国社会人サッカー選手権大会
東北予選会
8月20日(山形県総合運動公園)
1回戦 富士クラブ2003 1-2 マリソル松島SC

- [社会人チーム：FC Fuji08]
■岩手県サッカー選手権 兼
天皇杯全日本サッカー選手権岩手代表決定戦
5月15日～8月29日(岩手県営運動公園他)
2回戦 FC Fuji 08 0-1 ヌ・ペーレ平泉

- 岩手県社会人サッカーリーグ2部リーグ
6月5日～10月30日全10節(富士大学サッカー場他)
第5節まで 3勝1分1敗



卓球部

- 東北学生卓球連盟春季リーグ戦
6月14～16日(花巻市総合体育館)
男子団体 1部リーグ **第5位**
女子団体 1部リーグ **第3位**



女子ソフトボール部

- 北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会 兼
全日本大学ソフトボール選手権大会 北海道・東北地区予選会
5月21～22日(花巻：石鳥谷ふれあい運動公園)
1回戦 富士大学 26-0 宮城教育大学
準決勝 富士大学 10-0 北翔大学
決 勝 富士大学 5-2 東北福祉大学
優 勝 全日本大学選手権大会出場決定

- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会
東北予選会
7月16～17日(花巻：石鳥谷ふれあい運動公園)
準決勝 富士大学 2-0 スマイル福島
決勝戦 富士大学 8-5 東北福祉大学
優 勝 2年連続6度目
全日本総合選手権大会出場決定

- 東日本大学ソフトボール選手権大会
8月12～14日(新潟：長岡商業高等学校グラウンド他)
1回戦 富士大学 5-3 東海大学
2回戦 富士大学 3-0 日本女子体育大学
準々決勝 富士大学 1-2 城西大学
ベスト8



- 全日本大学女子ソフトボール選手権大会
8月27～29日(山口：長府扇町第2運動広場他)



- 1回戦 富士大学 3-2 愛媛女子短期大学
2回戦 富士大学 0-7 鈴鹿国際大学

ハンドボール部

- 東北学生ハンドボール春季リーグ
5月12～15日(秋田：湯沢市総合体育館他)
男子 3勝1敗1分 1部リーグ **第2位**
東日本学生選手権出場決定
<ベストセブン> GK：新村崇洋(3)
C P：森田隆亮(3)
女子 4勝0敗1分 **第2位**
東日本学生選手権出場決定
<ベストセブン> C P：佐藤友美(4)、
山重麻衣(4)

- 東日本学生選手権大会
8月17～19日(北海道総合体育センター)
男子 富士大学 48-27 小樽商科大学
富士大学 44-25 新潟大学
富士大学 35-40 法政大学
2勝1敗 ブロック **2位**
女子 富士大学 37-21 富山国際大学
富士大学 61-12 札幌国際大学
富士大学 19-19 桐蔭横浜大学
2勝1分 **ブロック 1位**
インカレ出場決定(6年連続6度目)
<優秀選手> 山重麻衣(4)



テニス部

- 東北学生テニス春季トーナメント
5月3日～15日(宮城：川内庭球場他)
男子 シングルス 國吉大輝(2) **※第5位**
ダブルス 柳田直人(3)・佐藤 真(2)組
※優 勝
女子 シングルス 小原由愛(4) **※第3位**
ダブルス 小原由愛(4)・信田怜奈(3)組
※優 勝
※は全日本学生選手権出場決定

- 東北ヨネックスカップ
5月14日～15日(宮城：泉パークタウンテニスクラブ)
男子 シングルス 柳田直人(3) **ベスト8**
増子拓弥(3)
千田慎也(2)
大川原庸平(1)
ダブルス 柳田直人(3)・佐藤 真(2)組
優 勝
國吉大輝(2)・小黑夏圭(1)組
準優勝
鎌田知希(4)・増子拓弥(3)組
第3位
女子 シングルス 小原由愛(4) **第3位**
ダブルス 小原由愛(4)・信田怜奈(3)組
優 勝

- 東北学生テニス夏季トーナメント
8月8日～19日(宮城：グランディ21他)
男子 ダブルス 柳田直人(3)・佐藤 真(2)組
第3位
女子 シングルス 小原由愛(4) **ベスト8**
高橋美琴(1)
ダブルス 小原由愛(4)・信田怜奈(3)組
※優 勝
※は全日本学生室内テニス選手権出場決定

- 全日本学生テニス選手権大会
8月28日～9月2日(東京：有明テニスの森公園)



- 男子 シングルス 國吉大輝(2) **出場**
ダブルス 柳田直人(3)・佐藤 真(2)組
出場
女子 シングルス 小原由愛(4) **出場**
ダブルス 小原由愛(4)・信田怜奈(3)組
出場

自転車部

- 県民体育大会自転車競技大会
7月3日(紫波自転車競技場)
1,000m独走 今田孝文(4) **第4位**
嵯峨竜馬(1) **第7位**
新道 寛(1) **第9位**
ケイリン 熊谷誠也(2) **第1位**
小野伊吹(4) **第4位**
30kmポイントレース 豊沢優太郎(2) **第2位**
スプリント 熊谷誠也(2) **第1位**
小野伊吹(4) **第3位**
嵯峨竜馬(1) **第6位**
今田孝文(4) **第7位**

- 県選手権大会自転車競技大会
7月9日(紫波自転車競技場)
1,000m独走 嵯峨竜馬(1) **第3位**
新道 寛(1) **第6位**
ケイリン 熊谷誠也(2) **第4位**
小野伊吹(4) **第5位**
スプリント 熊谷誠也(2) **第1位**
小野伊吹(4) **第2位**
嵯峨竜馬(1) **第3位**

- IBC岩手放送杯・紫波町長杯
ロードレース選手権大会
7月10日(紫波自転車競技場)
ロード競技 成年の部 豊沢優太郎(2) **第3位**
北海雄馬(3) **第4位**

バスケットボール部

- 東北大学春季バスケットボール大会
6月10～12日(山形：中山町総合体育館・山形大学)
男子 3回戦 富士大学 84-64 山形大学
準決勝 富士大学 72-59 岩手大学
決 勝 富士大学 86-63 仙台大学
優 勝
<最優秀選手賞> 田口成浩(4)
女子 2回戦 富士大学 109-30 北里大学
3回戦 富士大学 100-69 福島大学
準決勝 富士大学 56-94 山形大学
3位



陸上競技部

- 日本学生陸上競技個人選手権大会
6月17～19日(神奈川：平塚市総合公園)
女子 400m H 柴田幸恵(1) 56"60 **出場**

- 東北学生陸上競技対校選手権
6月26～28日(秋田県営陸上競技場)
男子 1,500m 樋渡翔太(4) 3'55"86 **優勝**
5,000m 樋渡翔太(4) 15'02"33 **優勝**
小野寺敬(2) 15'10"23
第4位
10,000m 小野寺敬(2) 31'44"74 **優勝**
十種競技 石戸谷優(1) **第5位**
樋渡・小野寺 全日本学生選手権出場決定

- 全日本大学駅伝東北地区代表選考会
7月17日(仙台大学)
男子 個人 小野寺敬(2) **第1位**
樋渡翔太(4) **第2位**
団体 **第4位**
東北選抜チームに小野寺・樋渡出場決定

- 北日本学生陸上競技対校選手権
8月11～12日(新潟市陸上競技場)
女子 走高跳 菊池 幸 1m58 **第3位**

	A O入試・社会人入試					推薦入試				給費生試験			一般入試			センター入試		
	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	Ⅴ 期	指定校 推 薦	スポーツ 推 薦	公 推	募 薦	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期
出願期間	A Oカード提出期間					I 期		Ⅱ 期		11/14月 } 12/2金 消印有効	1/6金 } 1/20金 消印有効	3/1木 } 3/19月 必着	1/6金 } 1/20金 消印有効	2/1水 } 2/17金 消印有効	3/1木 } 3/19月 必着	1/5木 } 2/9木 消印有効	2/21火 } 3/8木 必着	3/9金 } 3/23金 必着
	6/1水 8/17水	9/5月 9/30金	10/3月 11/18金	11/24木 1/27金	1/30月 3/9金	10/17月 } 11/4金 消印有効	11/14月 } 12/2金 消印有効											
	8/12金 8/26金 消印有効	9/22木 10/7金 消印有効	11/15火 11/25金 消印有効	1/18水 2/3金 消印有効	3/1木 3/19月 必着													
試験会場	札幌・本学		本学			本学				本学			本学・仙台・東京			—		
試験日	確認面談 9/2金	確認面談 10/14金	確認面談 12/9金	確認面談 2/10金	確認面談 3/23金	11/11金		12/9金		12/9金	1/27金	3/23金	1/27金	2/24金	3/23金	大学入試センター試験 平成24年1/14土・1/15日		

東日本大震災被災者支援特別試験
被災された方が進学そして大切な夢をあきらめることがあってはならない…そんな想いを込めて、富士大学では経済的支援の伴った特別入試を実施いたします。

■支援内容
経済的理由により勉学の機会を失うことがないよう、入試と入学後において次の支援を行います。
(1)受験料免除 (2)寮費減免措置 (3)学費減免措置

※減免額の詳細は書類等で審査し決定します。

■対象
「東日本大震災」で主たる家計支持者(※)が被災された方や、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により自宅を離れている方など、下記の内容のいずれかに該当する受験生(いずれも高卒生・高3生)を対象とします(各学科若干名)。

(1)自宅が全壊・半壊、流失等甚大な被害を受けた方
(2)主たる家計支持者が死亡・不明・負傷、または失職等により、経済的に困難な状況にある方
(3)被災により長期にわたる避難生活を余儀なくされている方
(4)福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等で避難生活を余儀なくされている方
その他、震災による間接的被災者等によるものはお問い合わせください。

※「主たる家計支持者」とは、学費負担者のごとで、受験生の父・母もしくはこれに代わって家計を支えている方のうち所得金額の最も高い方をいいます。

■経済学部 特別試験日程

出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	手続締切日(消印有効)
11月14(月) ～12月2(日)	12月9(金) 試験会場:本学	12月16(金)	12月29(木)

■選考方法

(1)面接試験 (2)小論文

■出願書類

(1)入学願書

(2)雇災証明書等被災された内容がわかる書類(コピーでも可)

(3)調査書

(4)写真1枚

■入学手続について

上記入学試験の入学手続き締切日までに手続きができない場合は、入試係にご相談ください。

■被災された受験生の学費等の納入金について

震災や原子力発電所の事故による避難等により、学費等の納入が困難な場合は相談に応じますので、速速なく入試係にご連絡ください。

富士大学の特色

■経済学部3学科設置

情報化、国際化が進む社会の市場経済を解明し、ビジネスの現場で必要とされる力を「経済学科」「経営法学科」「経営情報学科」で学ぶことができます。

■少人数ゼミで細やかな指導

全学年必修のゼミでは自ら研究テーマを見つけ、発表、討論する演習形式の学習が行われます。小人数編成で学生の個性

を生かしたゼミナールに取り組み、教授陣の個別指導を受けて学問を深めます。
■学習もスポーツも充実した教育施設・設備で語学実習室、マルチメディア実習室、ゼミ室、蔵書数18万冊を超える附属図書館などの学習環境に加え、全天候型陸上トラック、野球場、武道館、人工芝サッカー場他、国内大学最大級の総合体育館など、スポーツ環境も充実しています。学生食堂、女子学生専用休憩室は、学生生活のアメニティーを実現しています。

紫陵祭&オープンキャンパス
同時開催
10/22 SAT
10/23 SUN
2011

富士大の第45回
学園祭紫陵祭
テーマ「Future」
～希望をつなごう～

富士大生オープン
一日体験キャンパス
してみませんか?

第45回 紫陵祭

■時間：10時～16時 ■場所：富士大学キャンパス内
■受付：正門付近パンフレット配布

EVENT 楽しいイベント盛りだくさん!

- 富士無双/白熱の腕相撲大会! 一番強いのは誰だ!!
- Gut'sリビンゴ/会場でもらうビンゴカードが、ステキな商品へあなたを導く…かも?
- 激辛冷麺早食い/一心不乱に食いまくれ! 栄冠は誰の手に!!
- スタンプラリー/学内にあるスタンプを集めて景品をGET!
- 富士大記録/あなたが記録の目撃者となる!! Etc

※車でのご来場はご遠慮ください。当日は無料送迎バスがごあります。

模擬店・展示 食べどころ、見どころいっぱい!

フランクフルト・たこ焼き・だんご・冷たい飲みものなどの模擬店、研究発表などの展示コーナーを豊富にご用意。

フリーマーケット出店者募集中!

1区画3m×3m、出店料は無料です。
この機会にぜひご参加ください。

●お申し込み先 [富士大学紫陵祭フリマ係]
TEL.0198-22-4507

SPECIAL LIVE

Music、Dance、Magic?、お笑い
今年もド派手なライブを開催

●上演時間/1時間 ●場所/特設ステージ (雨天時6号館681教室)

10/22(土) ●開演 12:00

10/23(日) ●開演 12:00



ツヨアマガの



神奈月



ひとりできるもん



CHIKI

※満員の際は安全管理上、入場制限する場合がございます。予めご了承ください。

紫陵祭に関するお問い合わせは [富士大学紫陵祭実行委員会] TEL.FAX 0198-22-4507

花巻駅・北上駅から無料送迎バスが出ます。

詳しい時間・停留所は富士大学ホームページよりご覧ください。



平成22年4月岩手県消防学校に入校し、一人前の消防士となるために日々厳しい訓練や勉強をしました。9月末に卒業し、10月から遠野消防署予防係として勤務しています。

勤務内容としては、火災・救急・救助といった現場活動をはじめ、現場を想定した訓練や体力錬成、また予防係として避難訓練などを担当しています。

3月11日の大地震による津波で沿岸地域が甚大な被害を受けましたが、その支援活動のために消防・警察・自衛隊の多くの車両が遠

今、東北は大変ですが、ともに頑張ります。大学生活はあつという間です。部活に勉強に就職活動、1日1日を大切に夢に向かって頑張ってください。

野市にある運動公園に集まりました。私も救急援助隊として救急車に乗り岩手県釜石市で活動していました。また大きな地震が来るかもしれない；また津波が来るかもしれない；何が起るかわからない中、緊張と不安でいっぱいでしたが「一人でも多くの命を助けたい」「何か少しでも力になりたい」という強い思いがありました。

大学在学中は準硬式野球部に所属していました。部の活動を通して私は自分の弱さを知り、また人との出会いの大切さを学びました。自分を見つめ直し自分という人間を知り、その弱さを素直に受け入れることで人は成長できると思います。またいつも一緒にいて支えてくれたチームメイト、監督、先生方がいたからこそ今の私があります。

山口 裕毅さん

Yuki Yamaguchi

(平成22年経営情報学科卒)

●岩手県出身 ●遠野市消防本部遠野消防署予防係

OB Message